

令和4年度 学校推薦型選抜 I

鹿児島大学 医学部 保健学科
理学療法学専攻・作業療法学専攻

小論文

- ・開始の合図があるまで、表紙は開かないで下さい。
- ・問題用紙は、2枚です。
- ・解答用紙は、2枚です。
- ・下書き用紙は、2枚です。
- ・開始の合図があったら、解答を始める前に、問題用紙、解答用紙、下書き用紙の各枚数を確認して下さい。
- ・解答は、全て解答用紙に横書きで記述して下さい。また、必ず問題1は問題1の解答用紙に、問題2は問題2の解答用紙に解答してください。
- ・受験番号と氏名を2枚の解答用紙に必ず記入して下さい。
- ・問題用紙と下書き用紙は、持ち帰って構いません。

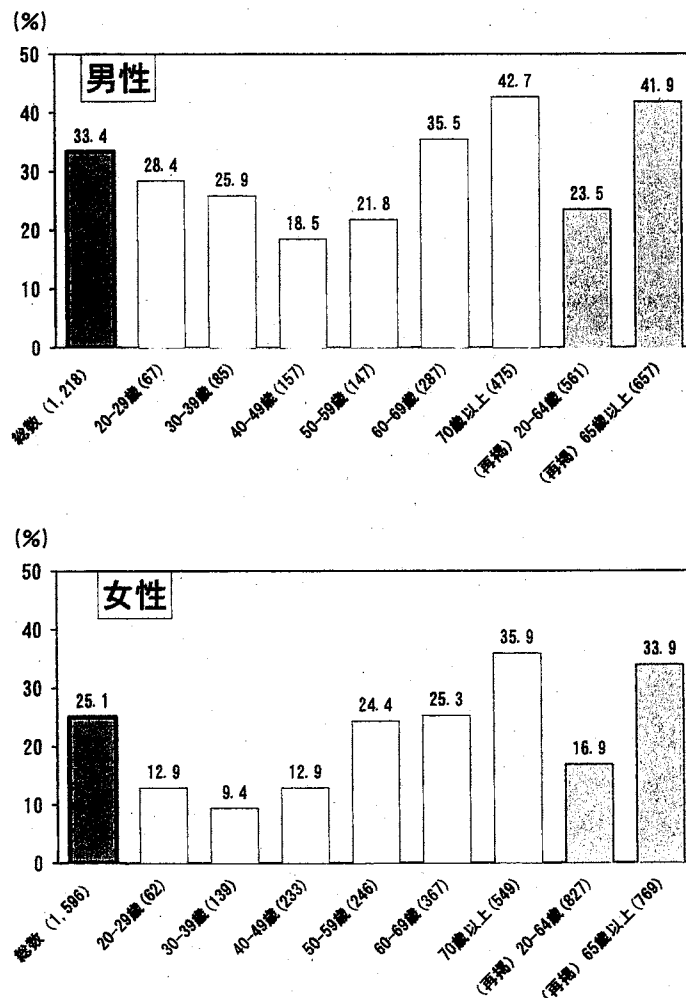
令和4年度 学校推薦型選抜 I 小論文問題 【問題1】

－理学療法学専攻・作業療法学専攻－

〔問題〕 下の図は、運動習慣のある者の割合（20歳以上、性・年齢階級別）、また、点線内の説明は「健康日本21（第二次）」の目標を示したものである。この図と点線内の説明からどのようなことがわかるか、また、運動習慣にかかわらず物事を習慣化するためにはどのような工夫が必要と考えるか、380字以上400字以内で述べなさい。

なお、「運動習慣のある者」とは、1回30分以上の運動を週2回以上実施し、1年以上継続している者である。

図 運動習慣のある者の割合（20歳以上、性・年齢階級別）



注 図のカッコ内の数字は、人数を示す。

参考「健康日本21（第二次）」の目標
 運動習慣者の割合の増加
 目標値：20～64歳 男性36% 女性33%
 65歳以上 男性58% 女性48%

令和4年度 学校推薦型選抜 I 小論文問題 【問題2】

－理学療法学専攻・作業療法学専攻－

〔問題〕 著者が述べている「所得の再分配」とはどのようなことであるか説明し、そのことに対するあなたの考えを380字以上400字以内で述べなさい。

〔課題文〕

社会保障制度は、お金持ちからみると不合理な（道理・理屈に合っていない）制度である。なぜなら、その財源は、社会保険であれ税金であれ、お金持ちほどたくさん負担する累進制だからである。しかもそれは、強制的に徴収される。

一方、十分な資産があるお金持ちなら、公的年金制度などなくても、老後の生活資金に不安はない。さらに、お金持ちほど病気になる確率は低い。仮に病気や要介護状態になっても、全額自己負担で大丈夫である。だから、社会保険など必要ない。なのに、法律で強制加入と決められ、強制的に社会保険料を徴収され、脱退する「自由」すら制限されているではないか。

しかも、お金持ちは誰のために負担をしているのか。健康保険でいえば、病気がちな低所得者層のためである。年金でいえば、働き盛りのときに貯金をせず（できず）、老後の生活資金が足りない人たちのためである。税金は、生活保護の給付費の財源となる。つまり、お金持ちからみれば、低所得の人たちの医療や生活保障のためにお金を取られている。これが、社会保障制度の拡充によってもたらされる「所得の再分配」である。

なるほど、お金持ちの立場から眺めてみると、所得の再分配を伴う社会保障制度は、彼らにとっての経済的合理性（損得勘定）に欠け、その拡充はうれしくないものなのだ。

出典『健康格差社会への処方箋』（近藤克則 著、医学書院、2017年）より抜粋

注1:設問を理解しやすくするために下線をほどこした。